

ICT活用工事（各工種毎）における出来形管理手法と積算方法

別表 4

ICT活用工種	3次元出来形管理等の施工管理												
ICT活用工事 積算要領名称	空中写真測量 (無人航空機) を用いた出来形 管理	地上型レーザ ースキャナーを用 いた出来形管理	無人航空機搭載 型レーザース キャナーを用いた 出来形管理	地上移動体搭載 型レーザース キャナーを用いた 出来形管理	T S等光波方式 を用いた出来形 管理	T S（ノンブリ ズム方式）を用 いた出来形管理	R T K-G N S を用いた出来 形管理	施工履歴データ を用いた出来形 管理	地上写真測量を 用いた出来形管 理	モバイル端末を 用いた出来形管 理	音響測深機器を 用いた出来形管 理	その他の3次元 計測技術を用いた 出来形管理	
土工	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
作業土工（床掘）	-	-	-	-	-	-	-						
土工（1,000m3未満）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
小規模土工	-	-	-	-	-	-	-						
法面工	○	○	○	○	○	○	○						
付帯構造物設置工	○	○	○	○	○	○	○						
地盤改良工								○					
基礎工	○	○	○	○	○	○	○						
河川浚渫								○			○		
河床等掘削								○			○		
舗装工		○		○	○	○							
舗装工（修繕工）								○	○				
構造物工（橋梁上部）	○	○	○		○								
構造物工（橋脚・橋台）	○	○	○		○								

左記以外の出来形管理を行う場合は、技術管理課へ報告

左記以外の出来形管理を行う場合は、技術管理課へ報告

【注意事項】

- 補正係数等の費用計上対象となる出来形管理：3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行った場合
- ：補正係数等の費用計上対象出来形管理
- ：面管理を実施した場合、補正係数等の費用計上対象とする
- 着色以外の工種及び赤枠以外の出来形管理を行った場合は、いかなる事由があっても補正係数等の費用計上はできません
- 土工1000㎡未満について、3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理を実施した場合補正係数費用計上の対象とはせず、見積により適正額を積み上げるものとする。なお、モバイル端末を用いた出来形管理についても同様とする。